



## 2016年6月18日(土) 籠ノ塔山・三方ヶ峰

Report by Kumamoto

2008年6月28日に「籠ノ塔山・三方ヶ峰から湯の丸山」の縦走を行っているが、今回は高峰温泉・籠ノ塔山、三方の峰から高峰温泉に戻り、秘湯を守る会の高峰温泉「ランプの湯」に入る企画で、小野寺さん、岡部さん、熊本の3名が参加した。



東京駅 6:52 発の北陸新幹線で、熊本は東京、小野寺さんは上野、岡部さんは大宮から乗車した。



軽井沢を過ぎると、浅間山と黒斑山が大きく迫ってきた。





8:18 に佐久平に到着し、高峰温泉行 8:35 のバスを待つ。ほぼバスは満席状態で出発した。



約 1 時間で標高 1973m の車坂峠に到着し、約半分の登山客が下車し、黒斑山に向かう。



車坂峠を過ぎるとこれから登る、水ノ塔山と東麓ノ塔山、それを結ぶ稜線が青空に映えて見えてきた。青空が広がり快晴だが高度約 2000m で爽やかで気持ち良い。



ほぼ定刻の 9:35 に終点「高峰温泉」に到着した。高峰温泉は標高 2000m の「ランプの湯」として人気の宿である。我々も下山後はここの温泉で入浴する予定だ。

但し 16 時が日帰温泉の終了時間で間に合うか？



3 分ストレッチで体を解す



9:45 右手の「水の塔山登山口」標識に従って入る





歩いて、2、3分すると岡部さんが何か指さした



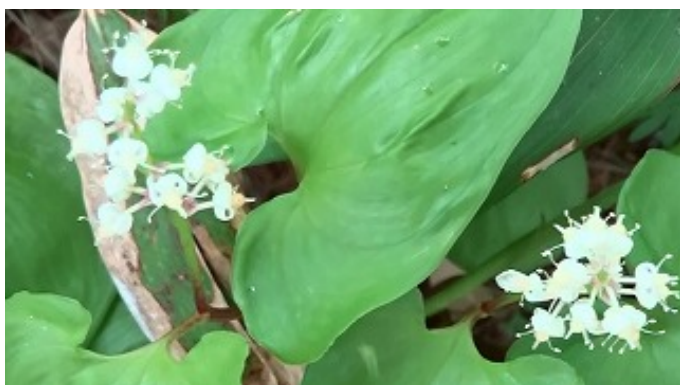
いきなり、イワカガミのご挨拶だ



続いて、ゴゼンタチバナ



更に、ツマトリソウが続く



そして、マイズルソウと高山植物が次々と・・・



カラマツ林の足元はクマザサで覆われていた



クマザサの間からレンゲツツジと最初の出会いだ



可憐なツガザクラも現れた





15 分程登ると「うぐいす展望台」に出た、見通しが良く前方に「水の塔山」が見えた。(10:00)



更に 3 分程登ると溶岩台地の  
ガレ場に出る。  
正面には赤ソレ崩壊地の急峻な  
土壁が見える。

このガレ場に咲いていた花



薄ーいピンク色のイワカガミ



?



シロバナヘビイチゴ



?





この繊毛は何だ？



キバナノコマノツメ



大きな石が道を塞いでいたが回り込んで、更に先へ登る

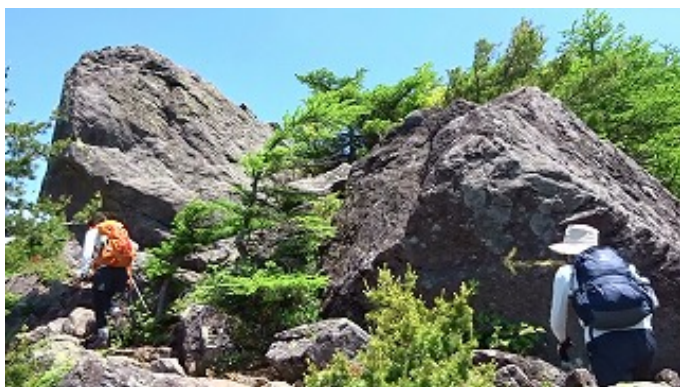


登り開始から 25 分登ると展望が開け、登山口の高峰温泉、黒斑山、車坂峠が見渡せる。



サラサドウダンも真っ赤に色づく





10:37 水の塔山の山頂が近づくと、大きな石が重なり合った急登に代わり、正念場の踏ん張りところだ。



10:45 登り始めて丁度 1 時間、水の塔山頂(2202m)に到着し最初の小休止。



水の塔山頂で、一人旅のお年寄りに撮ってもらったのだが、何と小野寺さんは顔が、半分しか映っていない・・・？

今思えば、あのおじさんは頼りない感じだったな・・・  
反省！しても後の祭りだ・・・



10:55 小休止の後、東麓ノ塔山に向かう、裏から入るとアズマシャクナゲが咲き残っていた。

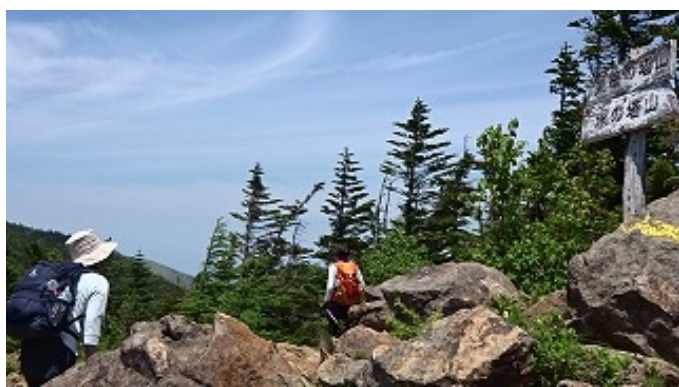




小野寺さんの指さす先はイワカガミの群生だった。



赤ソレ崩壊地の上に来た。  
谷側は急峻に切れたっており、  
そのうち崩れて登山道もなくなり  
そうだ。



11:10 一つのピークに来たがここは山頂でなく、東箒ノ塔山への通過点だ。



ミツバオウレン



ツガザクラの群生

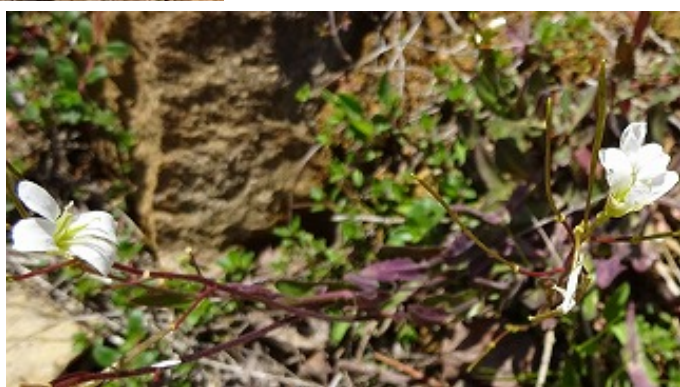




東麓ノ塔山が間近に迫ってきて、  
右に西麓ノ塔山も見えてきた。



ハナニガナ



ニョイスミレ



11:40 本日の最高点「東麓ノ塔山（2228m）」に立ちました。





山頂には立派な一等三角点があり、水の塔山、黒斑山その上に山頂を覗かせた浅間山



浅間山と反対側には、二年前の2016年6月に登った湯の丸山、烏帽子岳が見える。



東麓ノ塔山山頂で昼食





12:05 予定通りのタイムで池之平へ下山開始  
ガレ場を注意しながら下り切り樹林帯に入ると、  
イワカガミ、ツマトシソウ、マイズルソウ、  
シロバナヘビイチゴ等の高山植物が群生していた。



エンレイソウ



トゲトゲが痛そうなハリブキの葉



12:35 池之平に到着  
ここは湯の丸高峰自然休養林とあ  
った。



池之平の湿原を縦断し三方ヶ峰に向かう(10:45)





登りに入るとレンゲツツジの群生があり、



珍しいハクサンチドリが咲いていた



13:00 に三方ヶ峰に到着した。  
今回は、まだ、時期尚早で、  
コマクサには会えないかと危惧し  
ていたが、  
何と満開で、ラッキーだった。







コマクサ鑑賞を十分堪能して、見晴岳に向かう



ギンバイソウ?



カラマツソウとツボミ



見晴岳に向かう途中、これも珍しいミヤマハンショウズルが咲いていた。



アヤメ



スズラン





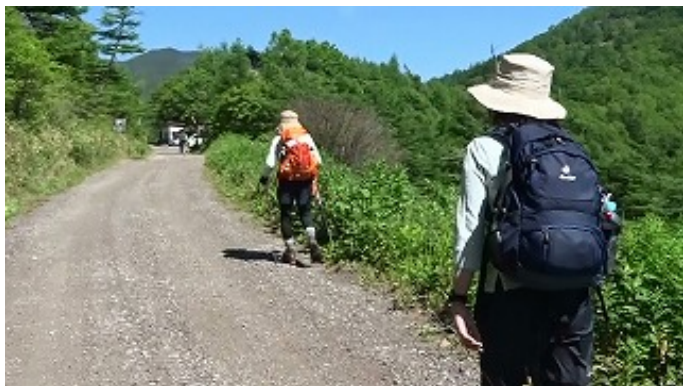
13:25 見晴岳に到着  
 ここも、コマクサが群生していた。



雲上の丘展望台から眺望を楽しみ、  
 雷の丘から池之平に戻った。  
 池の平からは砂利道の湯の丸高峰  
 林道を約 1 時間あるいて高峰温泉  
 に向かう



林道途中で見たグンナイフウロ



林道を早歩きし高峰温泉に到着（14:50）。予定到着  
 時間より 30 分はやく、1 時間の入浴時間が取れた。  
 高峰温泉は標高 2000m、高峰山の麓にひっそりとた  
 たずむ秘湯で乳白色の 100%源泉かけ流しの  
 ランプの湯だ。42 度と冷泉（36 度）の浴槽があり、  
 ユックリ浸かり汗を流す。（¥500）  
 （ただし、石鹸は使用できない）





16:17 発のバスで佐久平に向かう。

バスも予定より早く到着し、一本早い 17:31 発の新幹線に間に合い明るいうちに東京に戻りました。

今回は、先ず天候が快晴であったこと、都心は 30 度を超える真夏日でしたが、2000m を超えるハイキングで日陰は涼しく、思いがけないコマクサの満開を始め、歩き始めから最後まで、高山植物に出会えた山旅で大満足でした。